

2025年12月

参加者各位

社会福祉法人 京都福祉サービス協会
西ノ京事務所

社会福祉法人京都福祉サービス協会 西ノ京事務所
定期巡回ステーション 介護医療連携推進会議

記

・日時：2025年12月 19日（金） 14：30 ～ 15：30

・場所：西ノ京事務所 3階 会議室

・出席者：

高齢サポート・西ノ京 自治会長 民生児童委員 老人福祉員 社会福祉協議会会長
訪問看護ステーション なぎ 鳥羽ホーム
京都福祉サービス協会西ノ京事務所 所長 副所長
定期巡回ステーションマネジャー ナイトケアセンター主任

・議題

1. ご利用状況の報告
2. 事故・苦情・ヒヤリハット発生状況及び再発防止対策の報告
3. 職員状況
4. 事業報告
5. 高齢サポート・西ノ京様より
6. 自治会長・地域の皆様より
7. 鳥羽ホーム様より
8. その他

2025年度 第1回 定期巡回随時対応型訪問介護看護 介護医療連携推進会議
参加者

高齢サポート・西ノ京	出席
自治会長	出席
民生児童委員	退任
老人福祉員	欠席
老人福祉員	欠席
老人福祉員	欠席
社会福祉協議会会長	出席
民生委員会長	出席
訪問看護ステーション なぎ	出席
鳥羽ホーム	出席
京都福祉サービス協会西ノ京事務所 所長	出席
京都福祉サービス協会西ノ京事務所 副所長	出席
西ノ京定期巡回ステーション マネジャー	出席
ナイトケアセンター 主任	欠席
ナイトケアセンター 主任	欠席

1、夜間対応型訪問介護とは

別紙パンフレット参照

定期巡回随時対応型訪問介護とは

別紙チラシ参照

2、ご利用状況

ご利用者数 2025 年 11 月実績

	男性	女性
ナイトケアセンター	83 名	145 名
西ノ京定期巡回ステーション	3 名	7 名
西ノ京訪問介護ステーション	0 名	1 名

要介護度別

ナイトケアセンター

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
11 名	49 名	52 名	58 名	58 名

定期巡回ステーション

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2名	1名	2名	2名	3名

訪問介護ステーション

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0名	0名	0名	0名	1名

3. 事故・苦情・ひやりはっと発生状況(2025年4月～2025年11月)

	事故	苦情	ひやりはっと
ナイトケアセンター	0件	4件	5件
西ノ京定期巡回ステーション	1件	2件	17件
西ノ京訪問介護ステーション	0件	0件	2件

【内容】重複服薬（定期巡回ステーション）

【経過】A様から、「朝に来たヘルパーが薬を落としたので探してほしい」とあり、床に1錠落ちていた薬を発見。A様より、「飲んどくわ」と言われたため飲んでもらった。後ほど、朝に訪問したヘルパーに、「A様が自分で薬をこぼされたため、拾って薬の説明書きと照らし合わせて、11錠すべてあることを確認した上で服薬してもらった」と確認。拾って飲まれた薬は重複服薬になっていることが発覚。

→薬剤師・訪問看護・主治医と連携し、服薬後、しばらく様子を見るよう指示を受ける。

→担当ケアマネジャー・娘様へ経過報告

→3時間後、再度様子うかがいに訪問し、お変わりないことを確認した。

【再発防止策】

①介護員の前で服薬してもらえるよう、主治医・薬剤師等と調整中。

②お薬をこぼされた場合、拾い漏れがないかその場で確認できるよう、最新のお薬情報の場所を確認しておく。

3. 定期巡回ステーション職員状況

介護員13名 内8名兼務

早出／遅出／夜勤 3交代制で24時間365日支援体制を組んでいる。

原則1名体制となっている。

ナイトケアセンター職員状況

介護員11名 内7名兼務 面接相談員2名 オペレーター6名

4. 事業報告

ナイトケアセンター	11月の利用実績・定期訪問 470 回、随時訪問 136 回。 2027 年 4 月の介護保険制度改正に伴い、夜間対応型訪問介護が事業終了となるため、契約のあるご利用者や担当ケアマネジャーへ、周知を行い、左京区・南区・山科区などのエリア中心に事業所変更などについて調整中。
定期巡回ステーション	今年の 7 月に開設して、5 か月半。提供エリアは中京区と上京区の一部である。5 月、6 月頃から広報活動に力を入れた。ケアマネ事業所・包括・老健・病院等に精力的に営業を行った。ご利用者の自宅同士が離れており訪問時の移動や通報の対応に時間を要している。今後は事業所周囲にも必要とされている方はおられると思われるので、そちらの方も対応を行っていききたい。

参加者からのコメント

鳥羽ホーム：

南区で同業をしている。定期巡回のヒヤリハットが多いのが気になるが、それだけ訪問回数が多いということで、大きな事故につながらずヒヤリの内に回避・再発防止ができたのだと思う。感染症がまん延しても事業停止できないので、職員の体調管理もしつつお互いに頑張りたい。

民生委員会長：

緊急通報システムとの違いは？

→いきなり救急車等につながるのではなく、一旦定期巡回ステーションに繋がり、状況により連携先訪問看護に繋ぐことができる。

→状況を把握したヘルパーが来てくれるのがいい。

訪問看護ステーションなぎ：

ヘルパーがご利用者をしっかり把握してくれているので、相談しやすく、親身になってくれるので連携もしやすい。看護師にはできないことや後のフォローをしてくれるのでご利用者のニーズに応えることができる。

自治会長：

これから間違いなく需要の増えるサービス。まず人を増やして受け入れられる体制を作ってもらいたい。

社会福祉協議会会長：

職員数が少ないので、緊急の依頼が重なったらどうなるのだろうと思った。利用者数に応じて人を増やしてもらえたら、頑張って周知活動します。

西ノ京地域包括支援センター：

ケア会議などでサービスについて、詳しく知ることができた。実際に利用することはないが、一事例あり、家族の介護負担も軽減され、ご本人の安心にもつながり、よかったと聞いている。

5，地域BCPについて

※BCP（事業継続計画）：自然災害やテロ、システム障害などの緊急事態において、企業がどのように事業を継続するかを計画するもの

西ノ京事務所：AED を設置予定(今週中に設置)。

敷地ないので飲料自動販売機 災害ベンダー型のため、飲料の提供ができる。

売り上げが赤い羽根に募金される。

地域：想定できる災害パターンが多すぎて、決めきれていないのが実情。

年に1回防災訓練(応急処置の仕方・段ボールベッドの組み立て方・単価の使い方・町内から学校への避難など)をしている。

西ノ京事務所も参加し、実際に高齢や障害の方の避難介助を訓練してはどうか。

6，次回開催予定について

6ヵ月に1回の開催 次回2026年6月開催予定

次回 事業開始1年を迎え、自己評価・外部評価を行いたいと考えています。

民生委員会長より

学区内には多くの民生委員がいるので、輪番で出席するようにしてはどうか。

多くの方に事業を知ってもらいたいので、輪番で参加してもらえよう依頼する。

(連絡先がわからないため、早めに日程決め、連絡すれば調整くださるとのこと。)

年末のご多忙のところ、ご出席ありがとうございました。

本日の内容については、議事録を作成し、後日郵送させていただきます。

また、西ノ京定期巡回ステーションのご利用者へも、郵送にて報告いたします。

併せて、事業所ホームページにも掲載いたします。